

# 花南地区コミュニティ会議

## 平成28年度事業報告及び収支決算

平成28年度事業報告

(1) コミュニティ会議本部事業

(単位:円)

担当部会	事業名	事業内容	事業費
総務企画部会	①広聴・広報活動	コミュニティ会議の活動やまちづくりへの理解と関心を深めるため「花南コミュニティだより」を第62号から第77号までと、号外1回、計17回発行した。4/15、6/15、12/15、2/15、3/15は2色刷り4ページを発行した。	334,983
	②まちづくり先進地研修 (29年3月5日) 28人参加	特徴的なまちづくりを研修するため、宮城県多賀城市立図書館を視察した。同図書館は、多賀城駅前に立地し、大手書店やコーヒー店、レストランが入居している。市図書館と一体的な空間を形成し、多くの利用者でにぎわっている。 花巻市でも図書館整備が検討されていることから、花南地区への立地を要望した経緯もあり、その一環として研修テーマにしたものである。	122,042
	③新花巻発見探訪ツアー (9月30日) 23人参加	湯本地区の文化財、施設等について理解を深めた。訪問先は花巻第1工業団地の工場見学(イエヌ大塚製菓)、松島園、県立総合教育センター、平塚交流の森、松山寺、白山神社。	56,122
	⑤人材育成 (7月2日から8月27日まで全5回講座) 受講者12人	まちづくりを担う人材の育成確保を目的に「上館協働塾」を開催した。 ①開講式：花南のまちづくり 7/2 ②宮沢賢治 in 花南 (公開講座) 7/15 ③まちづくり、これからの10年をデザインする (公開講座) 7/29 ④まちづくりワークショップ 8/5 ⑤まちづくりワークショップ 8/27	47,400

担当部会	事業名	事業内容	事業費
総務企画部会	④国際交流 (12月25日) 留学生5人(中国、韓国)、南中生8人 会場＝花南振興センター	富士大学の留学生と南城中学校生徒の交流を目的に開催した。ニュースポーツ(シャフルボード)や意見交換会、手巻き寿司会食で交流を深めた。国レベルの課題もあるが、民間レベルで交流を深めていくことが大切との留学生の意見に、中学生も理解を深めていた。	36,255
	⑥花南寄席 六華亭遊花 落語公演(11月6日) 約160人入場	講演会事業の一つとして、昨年に続き花南寄席を開催した。今年度は、コミュニティ会議発足10年記念として、花南地区文化祭に併せて開催。遠野市出身で花巻南高校卒業の六華亭遊花師匠の落語に、会場が笑いの渦に包まれ、好評であった。	196,912
	⑦玄田有史教授の講演会 (7月13日南城中学校体育館) 生徒・教職員・一般 計350人参加	コミュニティ会議発足10年記念事業として、東京大学の玄田有史教授をお招きし、「希望のチカラ」と題して講演会を開催した。玄田教授の生徒と一体となった講演に生徒も引き込まれ、生徒から「理解しやすい講演であった」との意見が寄せられた。	209,806
	⑧まちづくりアンケート	コミュニティ会議発足10年を迎え、今後のまちづくりの参考とするためアンケート調査を実施した。 7月1日配付、8月1日回収。 対象世帯2,883世帯 回収1,387世帯 回収率48.1%(前回H24=48%)	17,868
	⑨花南の明日を語る懇談会 (4月24日) 74人参加	コミュニティ会議発足10年記念として宮沢賢治の実弟の孫にあたる宮沢和樹さんをお招きし、宮沢賢治について理解を深めた。	18,000
	⑩まちづくりワークショップ 1月21日32人 2月4日29人	コミュニティ会議発足10年を迎え、今後のまちづくりの方向性を検討するためワークショップを開催した。講師に、富士大学岡田学長と中村副学長をお願いした。	60,272

担当部会	事業名	事業内容	事業費
生活環境部会	①救命講習会 (9月2日) 約70人参加	防災の日にちなみ、救命講習会を開催し、心肺蘇生法等について理解を深めた。講師は、日本赤十字社岩手県支部指導員、助言指導は赤十字奉仕団の皆さんが務めた。講習会后、自家発電機を使って炊いたご飯でおにぎりをつくり、炊き出しを体験した。	22,536
	②ボランティア支援	南城小学校の空き缶プルタブ回収を支援するため、振興センターに回収窓口を開設し小学校へ提供した。数量は23.0kg。 また除雪機の貸出、点検、保険加入によりボランティア除雪を支援した。	99,110
	③交通安全の推進	交通安全意識を高めるため、花巻市交通安全協会無事故無違反100日コンクールに、花南地区から20チーム100人が参加した。4回目の参加となるが無事故無違反が17チームと100%達成できず、今後さらに交通ルールの順守意識を高める必要がある。	63,000
	④交通安全推進 標語・ポスター コンクール 7月～8月	交通安全意識を高めるため、南城小児童にポスター、南城中生徒に標語のコンクールを実施した。ポスターは31点、標語は全生徒が参加して264点の応募があった。応募作品から優秀作品を選考し、ポスターを印刷、標語看板を作成し、各自治会で必要な場所に掲示し交通安全の推進を図った。	301,841
	⑤こども110番の家推進	子どもの見守りと犯罪抑止力を高めるため、花南地区内有志の家庭や事業所において「こども110番の家」を巡回し、幟旗の更新・掲出を図った。 こども110番の家は38カ所である。	61,560
	⑥AED整備	花南振興センター及び花南地区社会体育館の設置しているAEDの消耗品(電極パッド)の更新を行った。	17,280

担当部会	事業名	事業内容	事業費
保 健 福 社 部 会	①世代間交流 (8月2日) 児童約90人、花 南老連・食改協等 40人参加	花南老連、花南食改協の皆さんに協力を いただき、児童、親、祖父母世代の交流会 を開催。昔遊びや昼食会などを通じ世代を 超えて楽しく交流を深めることができた。	90,275
	②こどもひろば 支援 (毎月第3火曜日 開設)	子育てのアドバイスや、親どうしの交流 の場として、花南在住の保育士や教員経験 者、民生委員など有志の皆さんが開設して いる「かなんこどもひろば」へ、文具・食 材に係る経費を支援した。 就学前の幼児は延べ155人、保護者家族 は延べ129人が利用した。 季節の行事ごとに花南食改協の皆さん がおやつやデザートに腕を振るっていた だいた。延べ117人の運営スタッフ(食改 協除く)の皆さんがこどもひろばを支え た。	31,521
	③料理教室 ・男の料理教室 (11月27日) 7人参加 ・親子料理教室(1 月14日) 15人参加	「食」や料理への理解を深める男の料理 教室では、「鶏もも肉のみぞれ焼き、シュ ーマイ」「白身魚の淡雪蒸し」。また「食」 の大切さを学び、料理を通じて交流を深め る親子料理教室では、「オムライス」「ハン バーグ」に挑戦した。参加児童から「料理 の大変さがわかった」などの感想が寄せら れ、食と料理への理解が深められた。	50,169
	④介護予防講演 会(3月16日) 29名参加	「転倒しにくい運動」や認知症をテーマ に研修・講演会を開催した。講師は介護施 設職員のユニットリーダーの方と西和賀 町の社会福祉法人の理事長にお願いし、介 護予防について理解を深めた。	33,740

担当部会	事業名	事業内容	事業費
産業振興部会	①産業振興講演会 (1月28日) 16人参加	外台地区圃場整備事業に伴い、賢治ゆかりの外台「古川」の整備について、事業の進捗や整備内容について学習した。豊沢川土地改良区の担当課長等が講師を務めた。	3,024
	②賢治生誕120年記念事業用、国体会場周辺美化用プランター花壇設置	賢治生誕120年を記念し、賢治文学散歩道にプランター花壇100個を設置した。また、国体会場となる富士大学周辺に花巻市の要請によるプランター花壇設置に対し、山の神行政区会と協働で取り組んだ。	262,951
	③景勝地管理	不動産内の桜並木に隣接して「イーハトーブ療育センター」が整備されることから、環境整備のため雑草等の刈り払いを行った。	100,440
教育文化部会	①スポーツ交流 (5月14日) 一般9チーム親子10チーム参加	コミュニティ会議発足10年記念として、今年度は一般の部に加え、親子の部を新設した。グラウンドゴルフを通じて親子のふれあい、他地区との交流を深めた。参加者は一般の部に67人、親子の部に60人が参加。一般の部は成田地区、親子の部は成田・大谷地連合チームが優勝した。	113,184
	②児童生徒の部屋開設 夏・延べ28人 冬・延べ38人	夏休み・冬休み中の児童生徒の自主学習を支援するため、児童生徒の部屋「自学館」をそれぞれ4日間開設した。指導は花南在住の学校長OBの皆さん。経費0円。	0
	③花南地区文化祭 (11月5日6日)	第38回「花南地区文化祭」を実行委員会により開催した。成田神楽と大谷地太神楽の郷土芸能鑑賞会、作品展示、ステージ発表に加え、花南寄席を併催、2日間多くの観客が来場した。	140,417
	④花南地区民ふれあい登山 7月22日:21人 10月14日:17人	花南地区住民を対象にふれあい登山を2回開催した。1回目は八幡平、2回目は氷上山(大船渡)に登山。スタッフは花南地区在住者で構成。講師は教育文化部会の専門委員が務めた。	83,100

担当部会	事業名	事業内容	事業費
教育文化 部会	⑤親子工作教室 ・7月30日23人 ・1月7日13人	夏・冬休みの工作を支援する「親子工作教室」を開催した。夏休みは「七宝焼」、冬休みは「切り絵」に挑戦。どの作品も世界に一つの力作がそろい、好評であった。	27,500 材料費は参加者負担 (七宝焼は半額助成)
	⑥生涯学習事業	市の生涯学習交付金と併せて次の生涯学習事業を実施した。 ・花南高齢者学級 全7回 46人 ・かなん女性学級 全7回 31人 ・自然観察会 2回 41人 ・押し絵教室 3回 14人 ・切り絵教室 1回 11人 ・書道教室 4回 26人 事業費 342,608円 うち 地域づくり交付金 152,608円 生涯学習交付金 190,000円	152,608

(2) 地域づくり交付金事業

(単位：千円)

事業名	事業内容	交付金
道路整備	道路舗装(100%支援) 2路線 南城地内1路線、山の神地内1路線	2,807
道路施設整備	カーブミラー(100%支援) 3基 諏訪地内1基、山の神地内2基	896
生活環境整備	①街路灯整備(100%支援) 新設11灯、修繕11灯 諏訪(新設1)、桜町四(修繕6)、南城(新設2、修繕1)、成田(修繕3)、山の神(新設3、修繕1)、大谷地(新設5)	1,076
	②ゴミ集積所整備(75%支援) 諏訪(建替え2棟)	421
	③避難所看板(75%支援) 大谷地1カ所	106
自治公民館整備	自治公民館の修繕・備品購入(50%支援) 諏訪(エアコン整備)、桜町一(床修繕・屋根塗装・エアコン整備)、桜町(テレビほか)、中村(冷蔵庫ほか)、松木田(屋根塗装)、山の神(カーテン)、大谷地(サッシ窓修繕、倉庫)	1,363
防災対策	防災研修会開催(50%支援) 山の神(研修視察)	35
団体活動支援	①花南地区屋外運動施設運営協議会 (75%)	198
	②花南地区自治公民館連絡協議会(活動支援) (定額)	52
	③花南教育振興協議会(活動支援) (定額)	40
	④南城小学校PTA(上館教室講演会支援) (定額)	30

(3) 花南振興センター管理事業

業務内容	①施設の利用受付及び貸出
	・開館日数 359日(12/29~1/3休館)
	・利用日数 353日
	・利用者数 延べ 15,917人
	②使用料の徴収
	・施設使用料(年間) 648,100円
	・同 減免額 602,350円(免除)
	・冷暖房使用料 86,970円
	③修繕・備品整備
	網戸設置(事務室、第1会議室) 172,800円
	折りたたみ椅子15脚購入 119,070円

(4) 花南地区社会体育館管理事業

業務内容	①施設の利用受付及び貸出
	・開館日数 359日(12/29~1/3休館)
	・利用日数 354日
	・利用者数 延べ 13,881人

(5) 生涯学習交付金事業(再掲)

事業費 190,000円(総額342,608円)

事業内容	・花南高齢者学級
	・かなん女性学級
	・書道教室



## 平成28年度収支決算

(1). 収入  
円)

(単位:

項 目	当初予算額	現計予算額 ① (3/17 補正)	決 算 額 ②	比 較 ①－②	備 考
交 付 金	11,910,000	11,910,000	11,910,000	0	市地域づくり 交付金
委 託 料	5,686,000	5,686,000	5,686,000	0	指定管理委託 料
繰 越 金	1,000	1,000	998	△ 2	前年度繰越金
雑 入	1,000	1,000	1075	75	預金利息 75 円 寄付金 1,000 円
合 計	17,598,000	17,598,000	17,598,073	73	

(2). 支出  
円)

(単位:

項 目	当初予算額	現計予算額 ① (3/17 補正)	決 算 額 ②	比 較 ①－②	備 考
1. 地域づくり交付金事業	11,722,000	11,722,000	11,720,184	1,816	(1)+(2)
(1) 事務費	2,300,000	1,942,000	1,942,268	△268	
1) 報酬	360,000	360,000	360,000	0	
2) 日当	100,000	87,000	86,000	1,000	
3) 賃金	800,000	681,000	668,915	12,085	
4) 需用費	800,000	588,000	617,635	△ 29,635	
5) 役務費	240,000	206,000	190,106	15,894	
6) 備品費	0	20,000	19,612	388	
(2) 事業費	9,422,000	9,780,000	9,777,916	2,084	
1) 本部事業	3,280,000	2,756,000	2,753,916	2,084	
2) 地域づくり交付金事業 (地域づくり支援事業)	6,142,000	7,024,000	7,024,000	0	
2. 振興センター管理事業	5,217,000	5,217,000	5,217,779	△779	

(1)報酬	240,000	240,000	240,000	0	
(2)賃金	180,000	140,000	140,000	0	
(3)給料	4,300,000	4,147,000	4,128,884	18,116	
(4)需用費	437,000	506,000	519,463	△ 13,463	
(5)役務費	60,000	65,000	70,362	△5,362	
(6)備品費	0	119,000	119,070	△70	

項 目	当初予算額	現計予算額 ① (3/17補正)	決算額 ②	比較 ①-②	備考
3. 社会体育館管理事業	469,000	469,000	469,000	0	
(1)報酬	240,000	240,000	240,000	0	
(2)賃金	146,000	145,000	145,000	0	
(3)需用費	83,000	84,000	84,000	0	
4. 生涯学習事業	190,000	190,000	190,000	0	
(1)謝金	96,000	96,000	60,800	35,200	
(2)消耗品	4,000	4,000	8,600	△4,600	
(3)借り上げ料	90,000	90,000	118,800	△ 28,800	
(4)役務費	0	0	1,800	△1,800	
合 計	17,598,000	17,598,000	17,596,963	1,037	

収入 17,598,073 円 - 支出 17,596,963 円 = 1,110 円 (次年度へ繰越)